

平成28年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

地域の経済動向  
【製造業】調査結果報告書

平成29年2月

徳地商工会

土井合同事務所 土井 一海

# 目 次

第1章 地域経済動向の調査概要（製造業） .....	2
(1) 調査目的 .....	2
(2) 調査期間・方法 .....	2
(3) 集計やグラフについて .....	2
第2章 製造業調査・集計結果 .....	3
1. 調査企業の概要 .....	3
(1) 営業年数（数量） .....	3
(2) 代表者の年齢（数量） .....	3
(3) 役員・従業員数 .....	3
(4) 売上高（SA） .....	4
2. 質問に対する回答集計・分析結果 .....	4
Q 1 事業所の属する業種 .....	4
Q 2 後継者の有無について .....	4
Q 3 事業所の業務内容 .....	5
Q 4 事業所の受注先・外注先 .....	6
Q 5 最も得意とするもの .....	6
Q 6 受注先企業の特徴 .....	7
Q 7 最大の受注先・外注先 .....	7
Q 8 昨年の設備投資動向（SA） .....	8
Q 9 今期の業績見通し（SA） .....	8
Q 10 直面している経営上の問題点（SA） .....	9
Q 11 今後の経営方針 .....	10
Q 12 今後の経営方針達成に必要な取組等 .....	11
Q 13 商工会への意見や要望 .....	11
第3章 調査結果のまとめ .....	12
第4章 参考資料 .....	13
(1) アンケート調査票【製造業】 .....	13
(2) 単純集計表 .....	17

## 第 1 章 地域経済動向の調査概要（製造業）

### （1）調査目的

小規模事業者から無作為に抽出した事業者から、アンケート調査等で得られた個々の企業の売上動向、仕入動向、資金繰り動向・採算動向等の調査結果と、4 半期に 1 回実施する景況調査、日本政策金融公庫の各種実態調査、その他統計資料情報等から得られる地域の経済動向資料を調査・分析し、個々の企業の経営状況に応じた情報提供体制を整備する。

### （2）調査期間・方法

- 調査期間：平成 28 年 1 1 月 1 5 日～平成 28 年 1 2 月 1 5 日
- 調査内容：巻末のアンケート調査票を参照願います。
- 調査方法：商工会会員の小規模事業者に調査票を配布、記入後商工会が、郵送・FAX にて回収した。
- 製造業回収結果：配布枚数 34 枚  
回収枚数 24 枚  
回収率 70.5%
- 集計・分析期間：平成 28 年 1 2 月 2 5 日～1 月 3 1 日

### （3）集計やグラフについて

- ・ SA（選択肢から 1 項目のみ選択）、MA（複数選択）、数量（数字記入）を表す。
- ・ 単純集計は、不明（無回答）を含め 100%として集計した。（「不明」は、選択もしくは記入がなかった回答の件数。）
- ・ MA は回答のあった合計件数を表記、構成比は回答者数に対する比率を表記したため 100%を超えている。
- ・ 集計表を目視で理解しやすいよう、ウェイトが高いカテゴリーを網掛けし強調した。
- ・ 円グラフのデータラベルの%表記は、スペースの関係で整数表記とした。

### 【注意点】

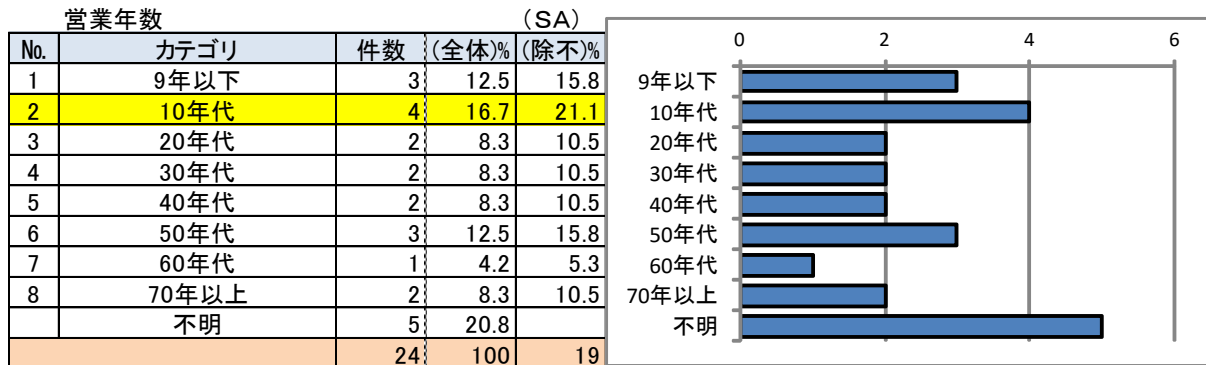
- ・ 調査・集計結果の本文では、主要な数値やグラフを用いて表現し、一部は割愛した。
- ・ 詳細なデータは、「第 4 章 参考資料」にある調査票や集計表を参照のこと。

## 第2章 製造業調査・集計結果

### 1. 調査企業の概要

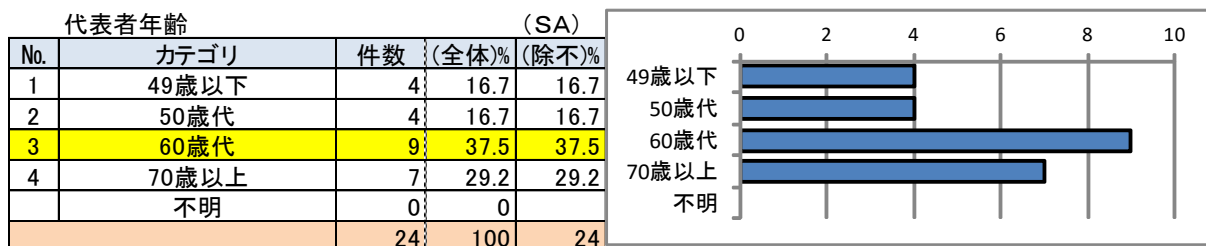
#### (1) 営業年数 (数量)

営業年数を10年単位で見ると、「10年代」が4件(16.7%)で最も多い。続いて「9年以下」「50年代」の各3件(12.5%)となっている。全体として、均等にばらついている印象である。



#### (2) 代表者の年齢 (数量)

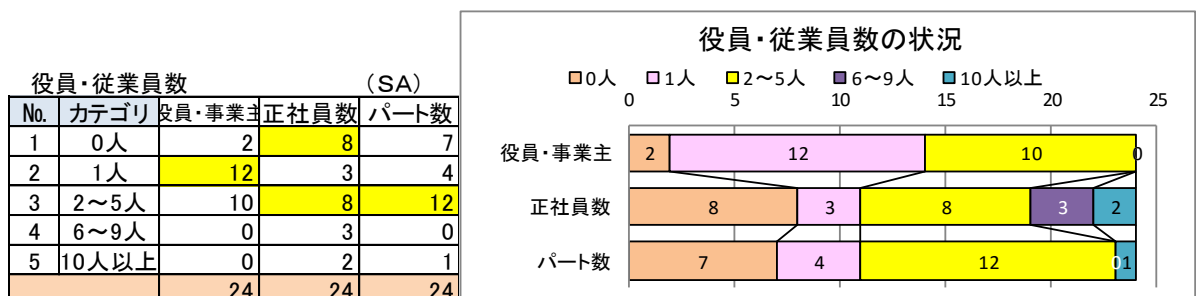
代表者の年齢を10年単位で見ると、「60歳代」が9件(37.5%)で最も多く、2番目が「70歳以上」で、合わせると60歳以上が66.7%となり、代表者の高齢化が進んでいる。

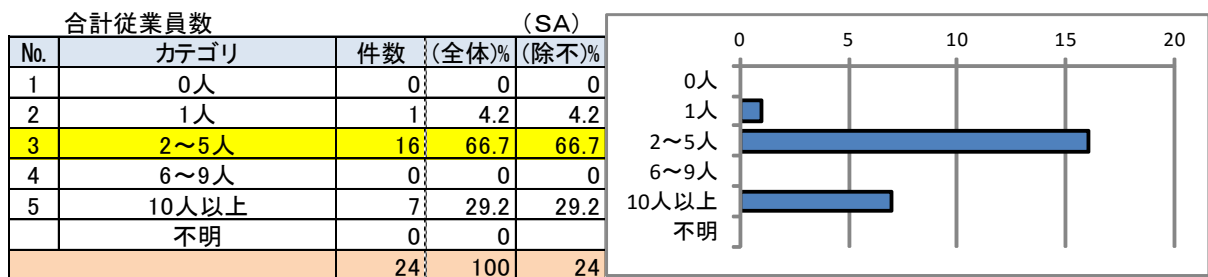


#### (3) 役員・従業員数

役員・事業主数は「1人」が12件、「2~5人」が10件。正社員数は「0人」と「2~5人」が各8件。パートは「2~5人」が12件、「0人」が7件となっている。これらを合計人数で見ると、「2~5人」が16件(66.7%)と小規模事業者が多いものの、10人以上の企業も7社ある。

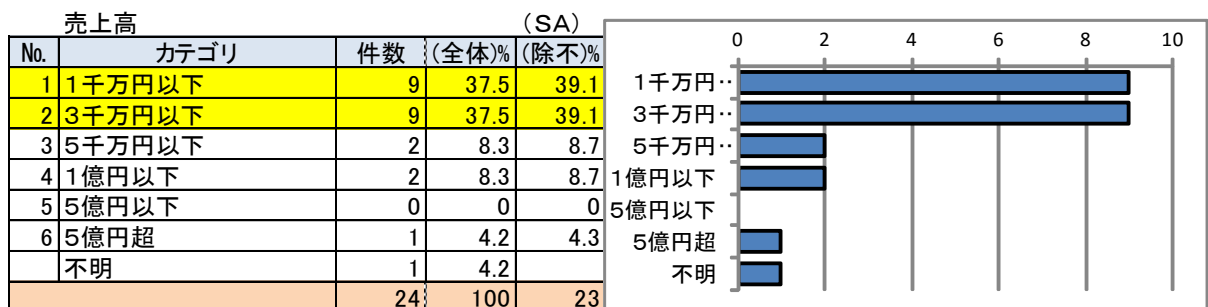
役員又は事業主数 (SA)				正社員数 (SA)				パート数 (SA)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)% (除不)%	No.	カテゴリ	件数	(全体)% (除不)%	No.	カテゴリ	件数	(全体)% (除不)%
1	0人	2	8.3 8.3	1	0人	8	33.3 33.3	1	0人	7	29.2 29.2
2	1人	12	50 50	2	1人	3	12.5 12.5	2	1人	4	16.7 16.7
3	2~5人	10	41.7 41.7	3	2~5人	8	33.3 33.3	3	2~5人	12	50 50
4	6~9人	0	0 0	4	6~9人	3	12.5 12.5	4	6~9人	0	0 0
5	10人以上	0	0 0	5	10人以上	2	8.3 8.3	5	10人以上	1	4.2 4.2
	不明	0	0		不明	0	0		不明	0	0
		24	100 24			24	100 24			24	100 24





#### (4) 売上高 (SA)

売上高は「1千万円以下」、「3千万円以下」が各9件(37.5%)で、両者を合わせると75%となる。また、5億円超の企業が1社ある。

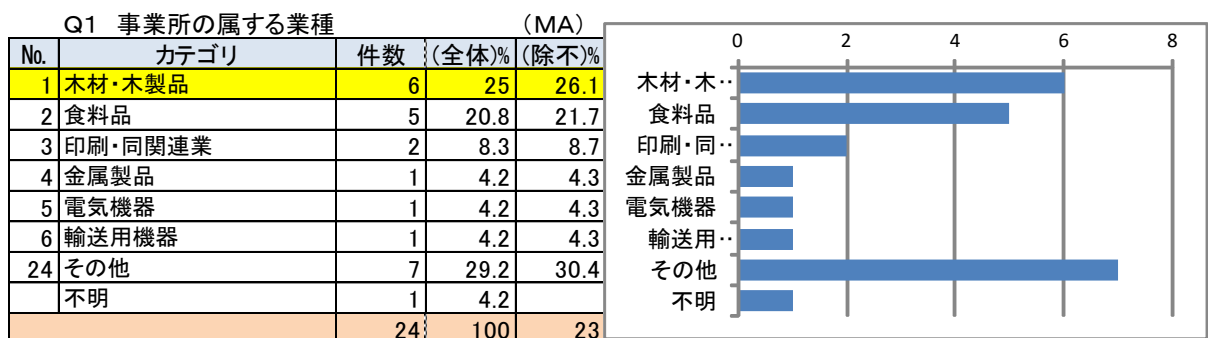


## 2. 質問に対する回答集計・分析結果

### Q1 事業所の属する業種

製造業の主な作業種別をみると、「木材・木製品」が6件(25%)、「食料品」が5件(20.8%)、「印刷・同関連業」が2件、「金属製品」、「電気機器」、「輸送用機器」が各1件となっている。

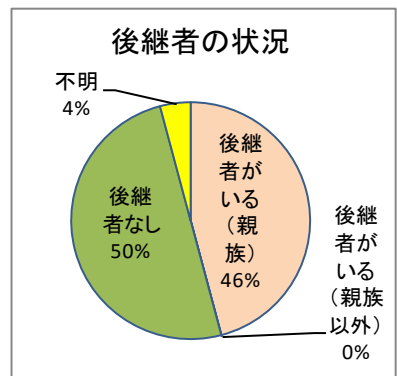
その他には、碎石仕入販売、製造業、畳、自動車用ワイヤーハーネス、石材加工、縫製、製造業の記載があった。



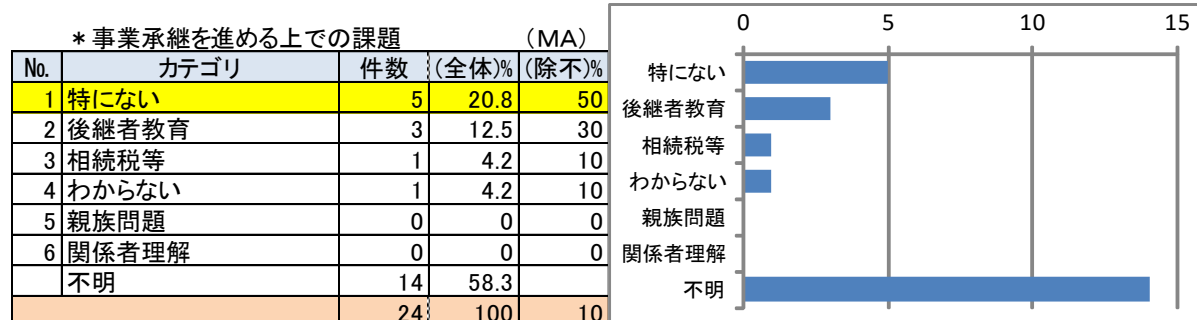
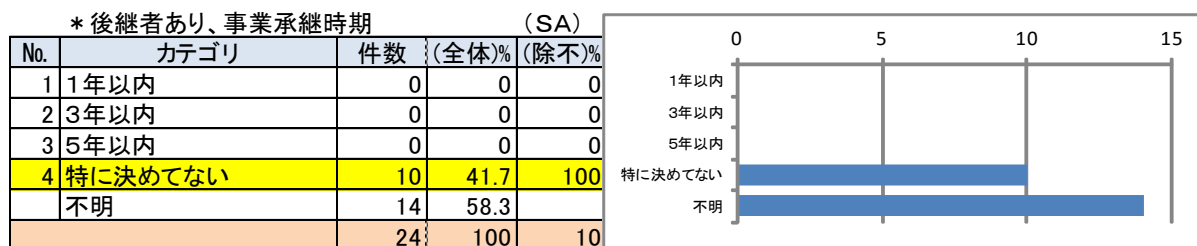
### Q2 後継者の有無について

後継者に関する質問で、「後継者がいる(親族)」は11件(45.8%)、「後継者なし」は15件(50%)となっている。

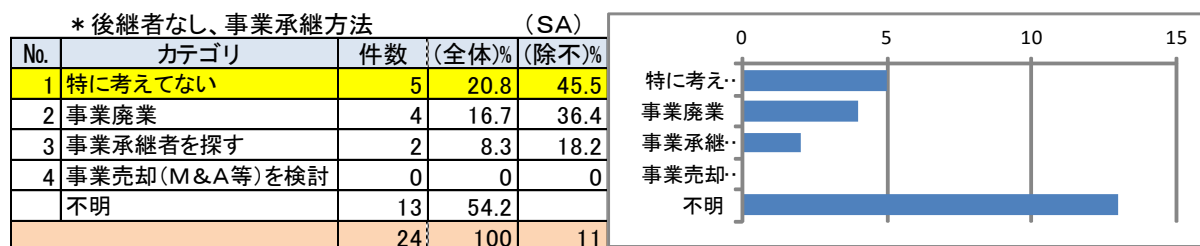
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	後継者がいる(親族)	11	45.8	47.8
2	後継者がいる(親族以外)	0	0	0
3	後継者なし	12	50	52.2
	不明	1	4.2	
		24	100	23



「後継者あり」の事業承継予定時期は、「特に決めていない」が10件で不明を除くと全回答となった。また、「事業承継を進める上での課題」としては「特にない」の回答が多かったが、「後継者教育」との回答も3件あった。

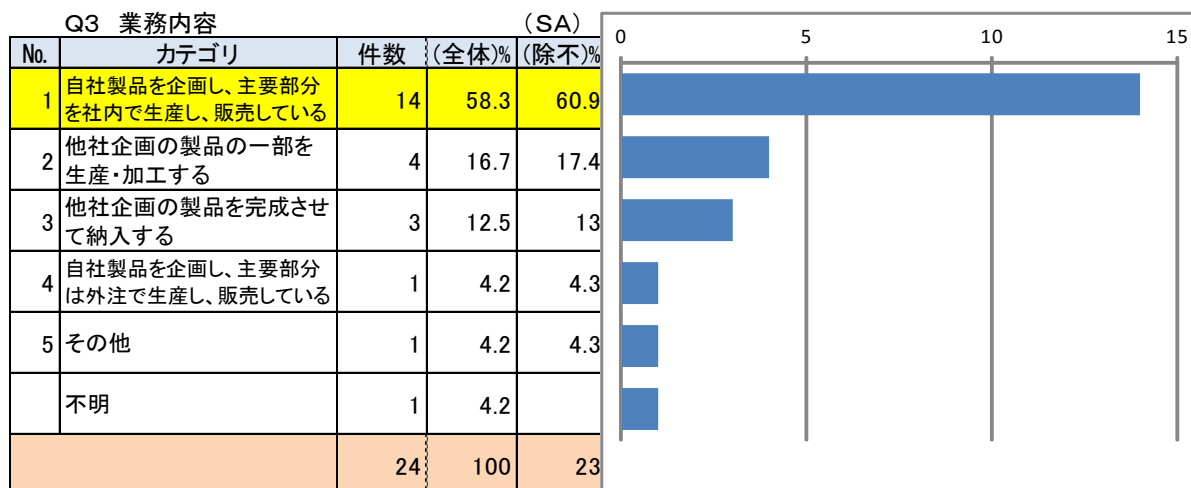


「後継者なし」の承継の見通しは、「事業継承者を探す」が2件であった、一方で「事業廃業」が4件ある。また、「特に考えていない」が一番多い5件あった。



### Q3 事業所の業務内容

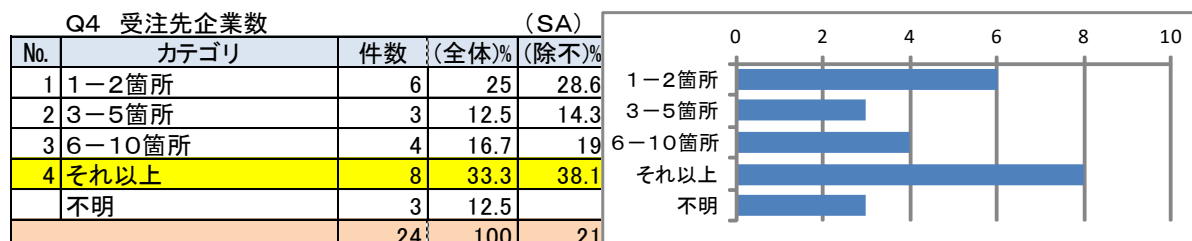
業務内容では「自社商品を企画し、主要部分を社内で生産し、販売している」が14件(58.3%)と最も多く、「他社企画の製品の一部を生産・加工する」4件(16.7%)、「他社企画の製品を完成させて納入する」3件(12.5%)、「自社製品を企画し、主要部品は外注で生産し、販売している」1件(4.2%)と続いている。



#### Q4 事業所の受注先・外注先

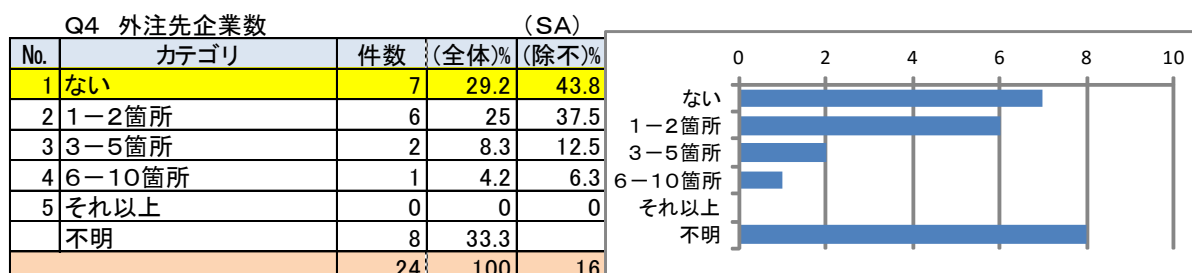
##### (1) 受注先企業数

受注先企業数は、「それ以上」の11箇所以上が8件(33.3%)で最も多く、「1~2箇所」が6件(25%)、「6~10箇所」が4件(16.7%)、「3~5箇所」(12.5%)となっている。



##### (2) 外注先企業数

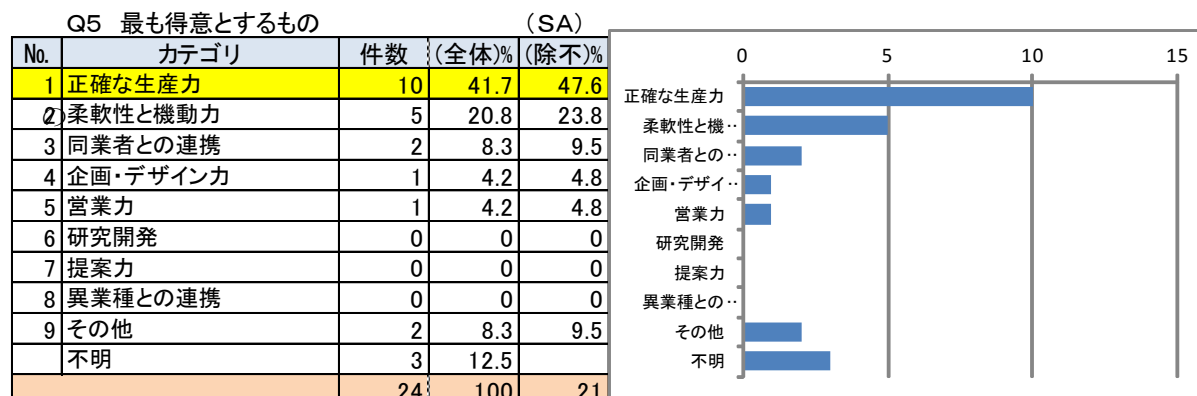
外注先企業は「ない」が7件(29.2%)で最も多く、「1~2箇所」が6件(25%)、「3~5箇所」が2件(8.3%)、「6~10箇所」が1件(4.2%)と、外注先の企業が少くない割合が高くなっている。



#### Q5 最も得意とするもの

最も得意とするものとしては、「正確な生産力」が10件(41.7%)で最も多く、「柔軟性と機動力」が5件(20.8%)で続き、以下「同業者との連携」が2件(8.3%)、「企画・デザイン力」と「営業力」が各1件で、生産技術や生産体制を得意とする企業が多くみられた。

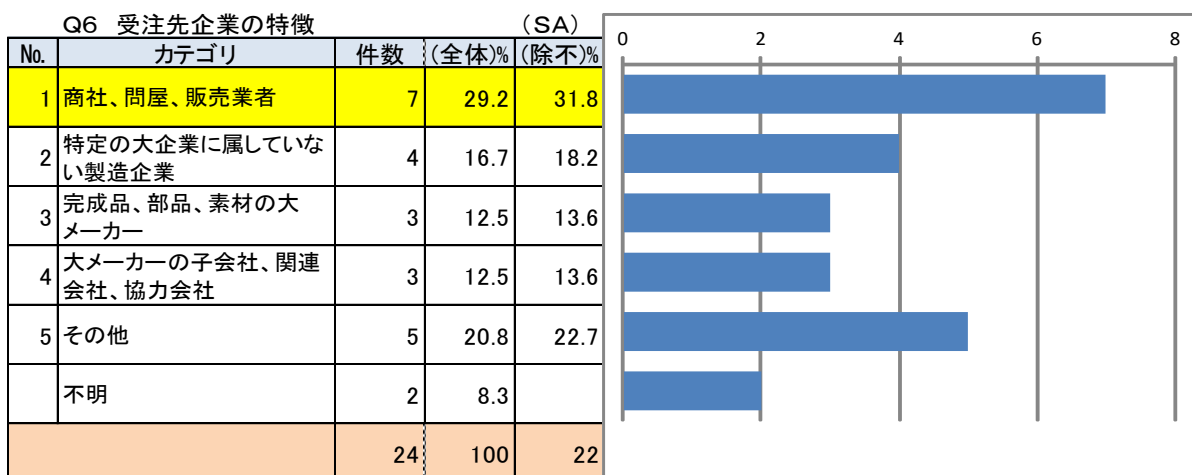
その他には、特にない・高品質の記載があった。



## Q6 受注先企業の特徴

受注先の企業の特徴としては、「商社、問屋、販売業者」が7件(29.2%)で最も多く、「特定の大企業に属していない製造企業」が4件(16.7%)、「完成品、部品、素材の大メーカー」と「大メーカーの子会社、関連会社、協力会社」が各3件(12.5%)となっている。

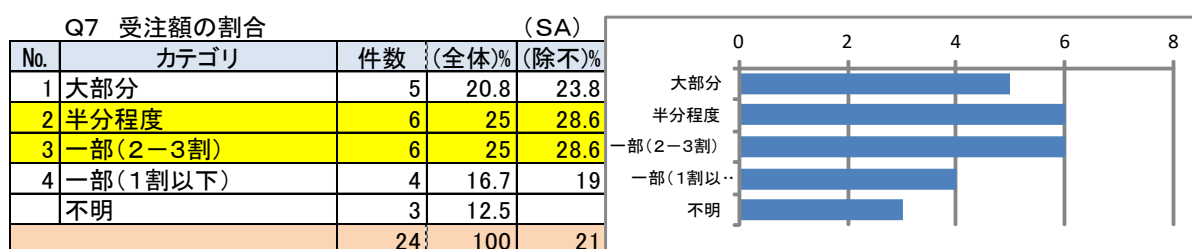
その他には、個人他・企業、一般、山口市近辺の生コン会社、個人、個人顧客の記載があった。



## Q7 最大の受注先・外注先

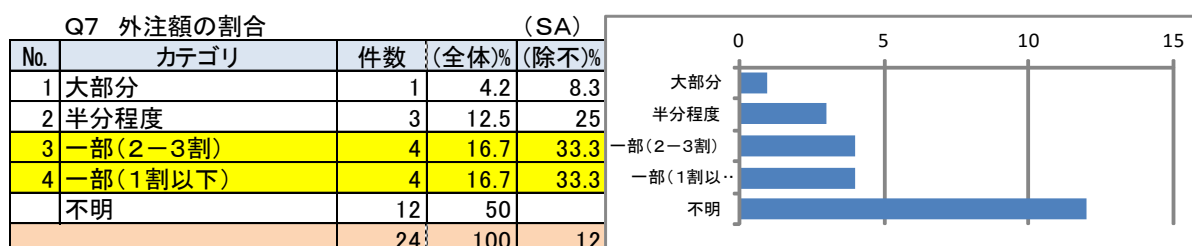
### (1) 受注額の割合

最大の受注先に対する受注額の割合は、「半分程度」と「一部(2~3割)」が各6件(25%)と多いものの、「大部分」が5件(20.8%)、「一部(1割以下)」が4件(16.7%)で、大きな差はない。



### (2) 外注額の割合

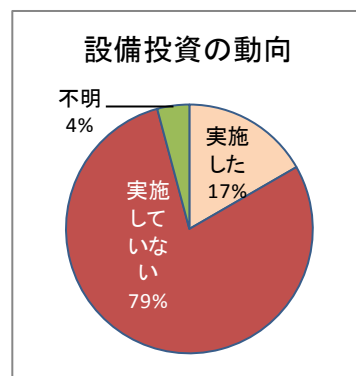
最大の外注先に対する外注額の割合は、「一部(2~3割)」と「一部(1割以下)」が4件(16.7%)で、「半分程度」が3件(12.5%)、「大部分」は1件(4.2%)となっている





### Q8 昨年の設備投資動向 (SA)

設備投資を「実施した」企業は4件(16.7%)で、「実施していない」企業19件(79.2%)を大きく下回った。また、実施した設備投資内容は、「生産設備」が4件(16.7%)で最も多く、次が「工場建物」が2件(8.3%)、「付帯設備」が1件(4.2%)と続いている。

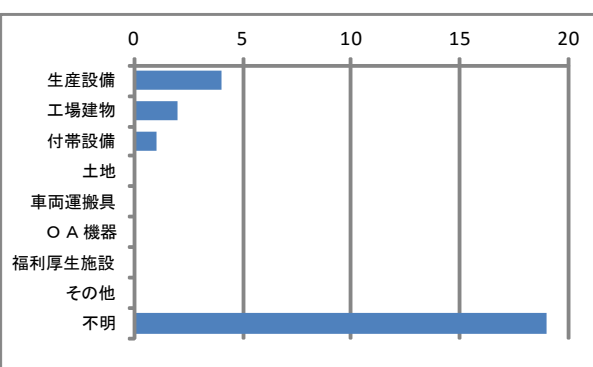


Q8 昨年新規の設備投資 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	実施した	4	16.7	17.4
2	実施していない	19	79.2	82.6
	不明	1	4.2	
		24	100	23

\* (実施した) 昨年新規の設備投資 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生産設備	4	16.7	80
2	工場建物	2	8.3	40
3	付帯設備	1	4.2	20
4	土地	0	0	0
5	車両運搬具	0	0	0
6	OA機器	0	0	0
7	福利厚生施設	0	0	0
8	その他	0	0	0
	不明	19	79.2	
		24	100	5



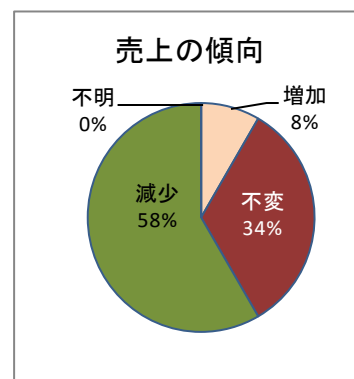
### Q9 今期の業績見通し (SA)

#### (1) 売上(加工)金額

前期と比較した売上(加工)金額が、「増加」は2件(8.3%)で、「減少」の14件(58.3%)の1/7と大きく下回った。

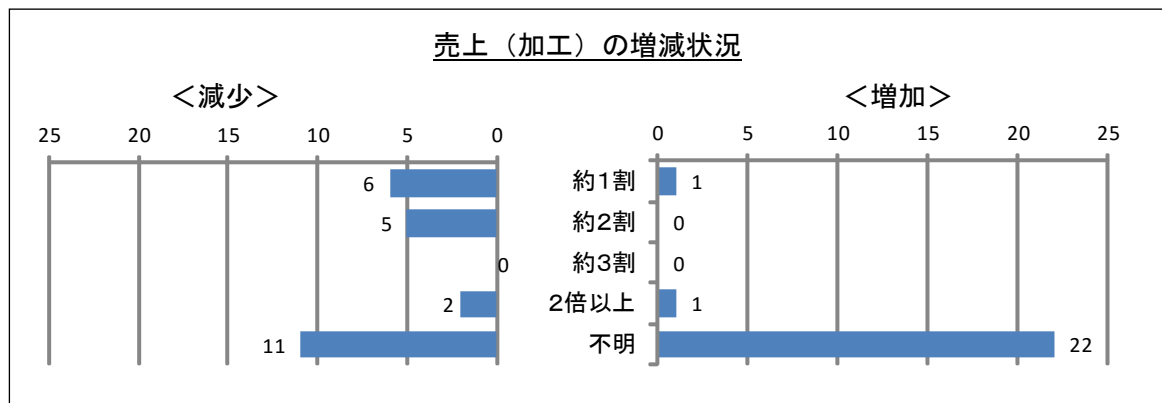
イ 売上(加工)金額 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加	2	8.3	8.3
2	不変	8	33.3	33.3
3	減少	14	58.3	58.3
	不明	0	0	
		24	100	24



#### (2) 売上(加工)の増減状況

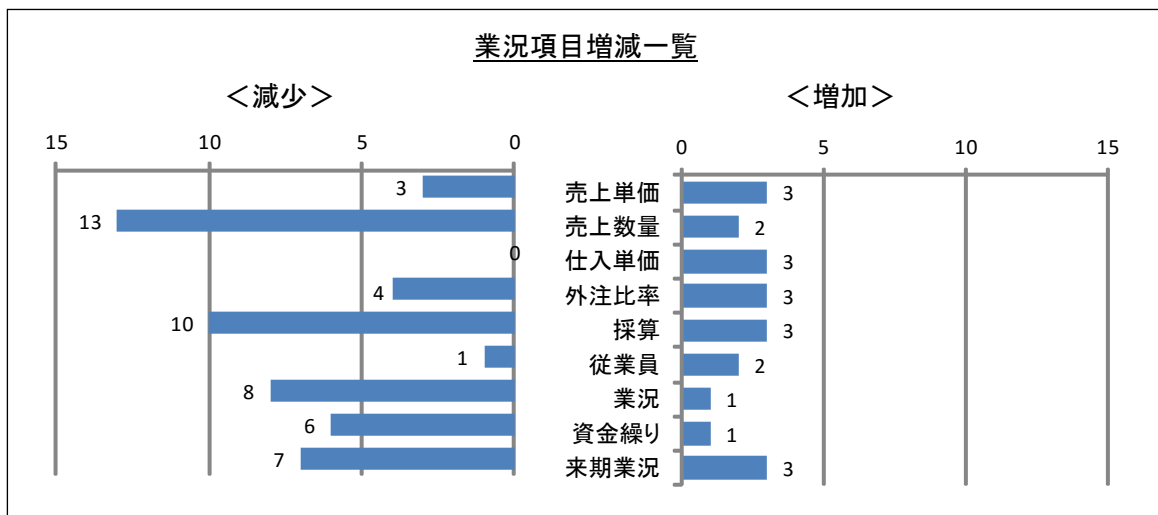
前期と比較した売上(加工)金額の増減割合を聞いたところ、増加は「約1割増加」と「2倍以上増加」が各1件であった。逆に「減少」は多く、「約1割減少」が6件、「約2割減少」が5件で、「2倍以上減少」が2件ある。



### (3) 売上単価等の状況

業績を左右する単価や数量等7項目を、「増加」、「不変」、「減少」から択一で質問した。どの業況項目も「不変」が半数程度あるが、これを除き「増加」と「減少」をグラフにした。

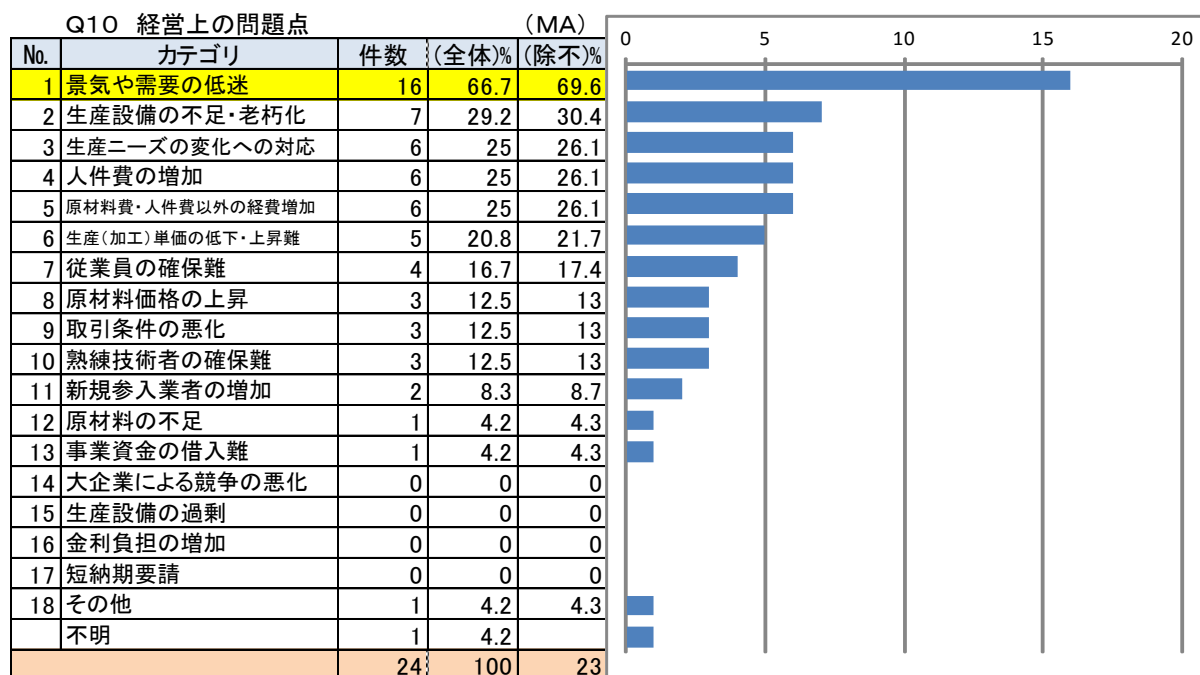
売上単価は「増加」と「減少」が同数となっているが、売上数量は「減少」が「増加」を大きく上回る一方で、仕入単価は「増加」が「減少」を上回り、売上が減少する中で、仕入単価が上昇し、採算・業況が悪化しており、資金繰りや来期の業況感も悪くなっている。



### Q10 直面している経営上の問題点（SA）

現在直面している経営上の問題点を3つ選択してもらった。

優先度の高い問題点として、「景気や需要の低迷」を選択した企業が16件と最も多く、2番目以降を大きく引き離している。続いて「生産設備の不足・老朽化」が7件で、「生産ニーズの変化への対応」、「人件費の増加」、「原材料費・人件費以外の経費増加」が各6件、「生産（加工）単価の低下・上昇難」が5件、「従業員の確保難」が4件、「原材料価格の上昇」、「取引条件の悪化」、「熟練技術者の確保難」が各3件、以下「新規参入業者の増加」、「原材料の不足」、「事業資金の借入難」となっている。その他には「高齢化」の記載があった、

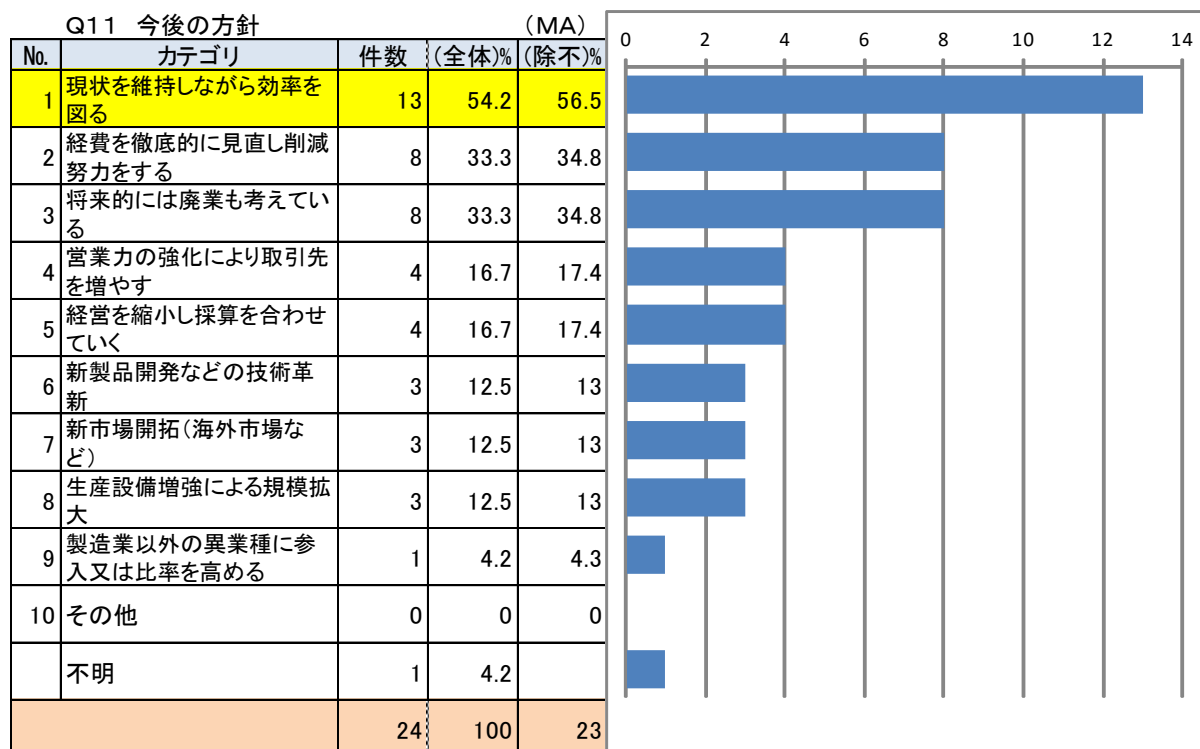


### Q11 今後の経営方針

前問と同様に、経営上の問題に対する今後の経営方針を、選択してもらった。

「現状を維持しながら効率化を図る」が13件で最も多く、「経費を徹底的に見直し削減努力をする」、「将来的には廃業も考えている」が各8件、「営業力の強化により取引先を増やす」、「経営を縮小し採算を合わせていく」が各4件で続いた。

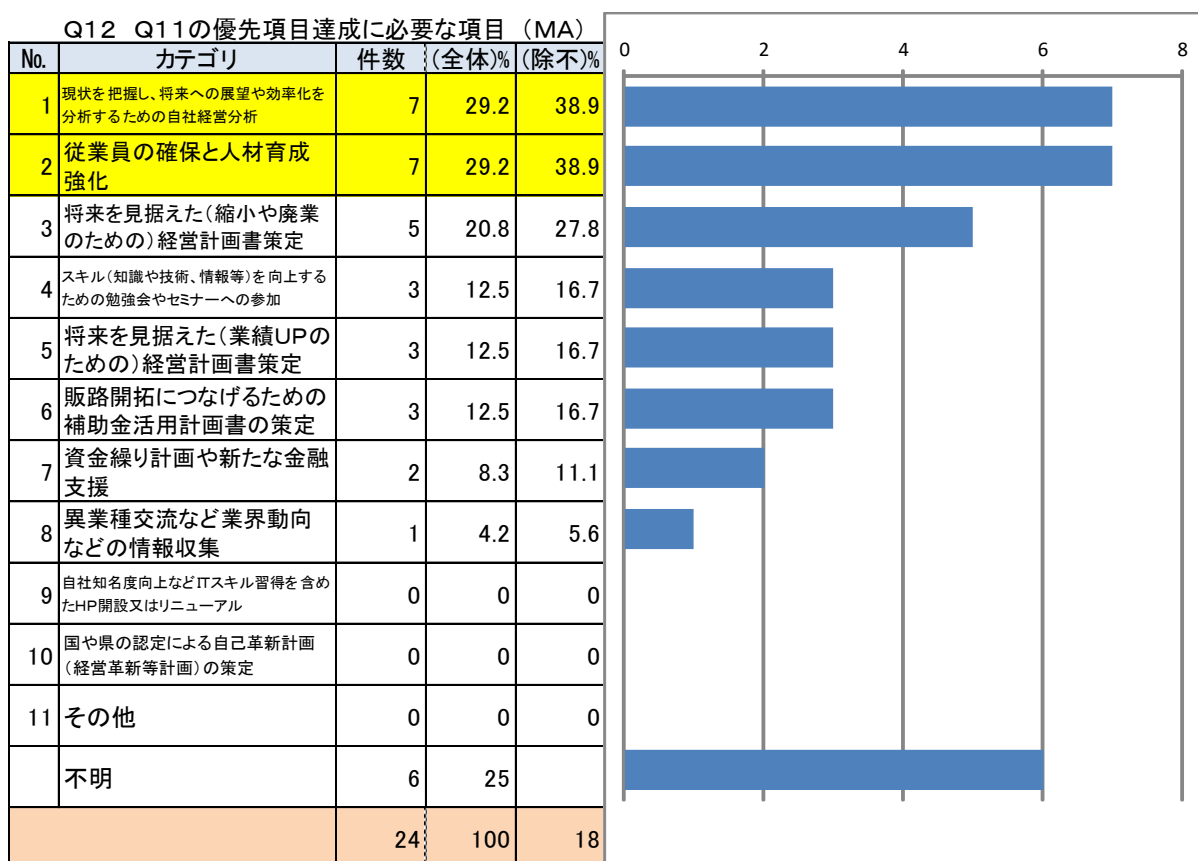
「将来的には廃業も考えている」等、厳しい状況の回答が上位にある中、「新製品開発などの技術革新」、「新市場開拓(海外市場など)」、「生産設備増強による規模拡大」の攻めの経営方針を示す回答が各3件あった。



### Q12 今後の経営方針達成に必要な取組等

前問に関連し、経営方針の達成に必要な取組を、選択してもらった。

「現状を把握し、将来への展望や効率化を分析するための自社経営分析」と、「従業員の確保と人材育成強化」が7件で最も多く、続いて「将来を見据えた（縮小や廃業のための）経営計画書策定」が5件、「スキルを向上するための勉強会やセミナーへの参加」、「将来を見据えた（業績UPのための）経営計画書策定」、「販路開拓につなげるための補助金活用計画書の策定」が各3件、「資金繰り計画や新たな金融支援」が2件、「異業種交流など業界動向などの情報収集」が1件となっている。



### Q13 商工会への意見や要望

以下、2件の記載があった。

- ・ご支援感謝しています。
- ・高齢化、人口減少に対応すべく、小売業者の連携と抜本的な対応が必要。

### 第3章 調査結果のまとめ

今回実施した地域の経済動向調査の結果判明した、徳地地域における製造業の概要及び経営状況、経営課題と方向性は、以下のとおりである。

調査企業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業年数は「10年代」が最も多いが、突出しているわけではなく、各営業年数が平均的に分布している。</li> <li>・ 代表者の年齢は、60歳以上が約66.7%と高齢化が進んでいる。</li> <li>・ 従業員5人以下が66.7%、売上3千万円以下75%と、小規模事業者が多い一方、従業員数10人以上が7社ある。</li> </ul>
主たる業種等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「木材・木製品」が6件、「食料品」5件、「印刷・同関連業」が2件となっている。</li> </ul>
後継者問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後継者が「いる」11件に対し、「なし」が12件でほぼ同数である。</li> <li>・ 後継者「いる」の全数が、「事業承継時期を特に決めていない」。</li> <li>・ 「事業承継の課題」は、「後継者教育」が3件で最も多かった。</li> <li>・ 後継者なしの対応は、「特に考えていない」が最も多く5件で、「事業廃業」が4件あった。</li> </ul>
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自社製品を企画し、主要部品を社内で生産し、販売している」が、14件(58.3%)と最も多かった。</li> </ul>
事業所の受注先・外注先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受注先企業数は「11箇所以上」が最も多く、外注先企業数は「ない」が最も多く、多数の受注先に自社の生産力のみで対応する企業が多い。</li> </ul>
最も得意とするもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「正確な生産力」「柔軟性と機動力」が上位に入り、生産技術や生産体制を得意とする企業が多くみられる。</li> </ul>
受注先企業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「商社、問屋、販売店」が最も多く、下請けではなく自社の販売ルートをもつ企業が多いと思われる。</li> </ul>
最大の受注先・外注先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最大の受注先に対する受注割合は「半分程度」「2~3割」に対して、最大の外注先の外注割合は「2~3割」「1割以下」の回答が多かった。</li> </ul>
設備投資状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備投資実施企業は4件で、実施していない企業の19件を下回った。</li> <li>・ 設備投資内容は生産設備4件、工場建物2件、付帯設備1件。</li> </ul>
今期の業績見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上増加は2件(8.3%)で、「減少」の14件(58.3%)の1/7。</li> <li>・ 売上増加、1割と2倍以上が各1件。対して、売上減少、1割6件、2割5件と多く、2倍以上減少の大幅減少も2件ある。</li> <li>・ 売上数量が減少する一方、仕入単価が増加、採算・業況が悪化している。</li> </ul>
直面する経営課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「景気や需要の低迷」を選択した企業が最も多かった。</li> </ul>
今後の経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「現状を維持しながら効率化を図る」が最も多い。</li> </ul>
今後必要な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「現状を把握し、将来への展望や効率化を分析するための自社経営分析」、「従業員の確保と人材育成強化」をあげる企業が多い。</li> </ul>

## 第4章 参考資料

### (1) アンケート調査票【製造業】

【製造業】事業者アンケート

記入日： 年 月 日

以下アンケート項目の（ ）内に記入又は、○印を入れて下さい

#### ○企業内容状況について

企業名			
事業所所在地			
代表者氏名			
営業年数	年	代表者年齢	歳
従業員数	役員又は事業主( )名 正社員( )名 パート( )名 合計( )名		
売上高	・1千万円以下 ・3千万円以下 ・5千万円以下 ・1億円以下 ・5億円以下 ・5億円超		

#### Q1 事業所の属する業種について1つ選んでください

1. 食料品	2. 飲料・たばこ・飼料	3. 繊維工業
4. 木材・木製品	5. 家具・装備品	6. パルプ・紙・紙加工品
7. 印刷・同関連業	8. 化学工業	9. 石油・石炭製品
10. プラスチック製品	11. ゴム製品	12. なめし皮・毛皮
13. 窯業・土石製品	14. 鉄鋼業	15. 非鉄金属
16. 金属製品	17. はん用機器	18. 生産用機器
19. 業務用機器	20. 電子部品・デバイス	21. 電気機器
22. 情報通信機器	23. 輸送用機器	24. その他

#### Q2 後継者の有無について

1. 後継者がいる（親族） 2. 後継者がいる（親族以外） 3. 後継者なし

\*後継者がいるに○印をつけた方は、事業承継の予定時期についてお伺いします

・1年以内・3年以内・5年以内・特に決めていない

\*また、事業承継を進めるうえで現在考えられる課題についてお伺いします

・親族問題・相続税等・後継者教育・関係者理解・わからない・特にない

\*後継者なしに○印をつけた方は、今後の予定についてお伺いします

・事業承継者を探す・事業売却(M&A等)を検討・事業廃業・特に考えてない

Q3 事業所の業務内容について該当するものを1つ選んでください

1.自社製品を企画し、主要部分を社内で生産し、販売している
2.自社製品を企画し、主要部分は外注で生産し、販売している
3.他社企画の製品を完成させて納入する
4.他社企画の製品の一部分を生産・加工する
5.その他( )

Q4 事業所の受注先企業数、外注先企業数について1つずつ選んでください

- (1) 受注先は ①1-2箇所 ②3-5箇所 ③6-10箇所 ④それ以上  
(2) 外注先は ①ない ②1-2箇所 ③3-5箇所 ④6-10箇所 ⑤それ以上

Q5 あなたの事業所が最も得意とするものは何ですか。1つ選んでください

1.研究開発	2.企画・デザイン力	3.正確な生産力
4.営業力	5.提案力	6.柔軟性と機動力
7.同業者との連携	8.異業種との連携	9.その他( )

Q6 受注先企業の特徴について該当するものを1つ選んでください

1.完成品、部品、素材の大メーカー
2.大メーカーの子会社、関連会社、協力会社
3.特定の大企業に属していない製造業企業
4.商社、問屋、販売業者
5.その他( )

Q7 最大の受注先・外注先は受注額・外注額のどれくらいを占めていますか

- (1) 受注額全体の ①大部分 ②半分程度 ③一部(2-3割) ④一部(1割以下)  
(2) 外注額全体の ①大部分 ②半分程度 ③一部(2-3割) ④一部(1割以下)

Q8 昨年の新規の設備投資は、どのような状況ですか

- 1.実施した 2.実施していない

\*実施した場合に該当する全ての番号に○印を付けて下さい

- 1.土地 2.工場建物 3.生産設備 4.車両運搬具  
5.付帯設備 6.OA機器 7.福利厚生施設 8.その他( )









(2) 単純集計表

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	9年以下	3	12.5	15.8
2	10年代	4	16.7	21.1
3	20年代	2	8.3	10.5
4	30年代	2	8.3	10.5
5	40年代	2	8.3	10.5
6	50年代	3	12.5	15.8
7	60年代	1	4.2	5.3
8	70年以上	2	8.3	10.5
	不明	5	20.8	
		24	100	19

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	49歳以下	4	16.7	16.7
2	50歳代	4	16.7	16.7
3	60歳代	9	37.5	37.5
4	70歳以上	7	29.2	29.2
	不明	0	0	
		24	100	24

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0人	2	8.3	8.3
2	1人	12	50	50
3	2~5人	10	41.7	41.7
4	6~9人	0	0	0
5	10人以上	0	0	0
	不明	0	0	
		24	100	24

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0人	8	33.3	33.3
2	1人	3	12.5	12.5
3	2~5人	8	33.3	33.3
4	6~9人	3	12.5	12.5
5	10人以上	2	8.3	8.3
	不明	0	0	
		24	100	24

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0人	7	29.2	29.2
2	1人	4	16.7	16.7
3	2~5人	12	50	50
4	6~9人	0	0	0
5	10人以上	1	4.2	4.2
	不明	0	0	
		24	100	24

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0人	0	0	0
2	1人	1	4.2	4.2
3	2~5人	16	66.7	66.7
4	6~9人	0	0	0
5	10人以上	7	29.2	29.2
	不明	0	0	
		24	100	24

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1千万円以下	9	37.5	39.1
2	3千万円以下	9	37.5	39.1
3	5千万円以下	2	8.3	8.7
4	1億円以下	2	8.3	8.7
5	5億円以下	0	0	0
6	5億円超	1	4.2	4.3
	不明	1	4.2	
		24	100	23

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	食料品	5	20.8	21.7
2	飲料・たばこ・飼料	0	0	0
3	繊維工業	0	0	0
4	木材・木製品	6	25	26.1
5	家具・装備品	0	0	0
6	パルプ・紙・紙加工品	0	0	0
7	印刷・同関連業	2	8.3	8.7
8	化学工業	0	0	0
9	石油・石炭製品	0	0	0
10	プラスチック製品	0	0	0
11	ゴム製品	0	0	0
12	なめし皮・毛皮	0	0	0
13	窯業・土石製品	0	0	0
14	鉄鋼業	0	0	0
15	非鉄金属	0	0	0
16	金属製品	1	4.2	4.3
17	はん用機器	0	0	0
18	生産用機器	0	0	0
19	業務用機器	0	0	0
20	電子部品・デバイス	0	0	0
21	電気機器	1	4.2	4.3
22	情報通信機器	0	0	0
23	輸送用機器	1	4.2	4.3
24	その他	7	29.2	30.4
	不明	1	4.2	
		24	100	23

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	後継者がいる(親族)	11	45.8	47.8
2	後継者がいる(親族以外)	0	0	0
3	後継者なし	12	50	52.2
	不明	1	4.2	
		24	100	23

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1年以内	0	0	0
2	3年以内	0	0	0
3	5年以内	0	0	0
4	特に決めてない	10	41.7	100
	不明	14	58.3	
		24	100	10

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	親族問題	0	0	0
2	相続税等	1	4.2	10
3	後継者教育	3	12.5	30
4	関係者理解	0	0	0
5	わからない	1	4.2	10
6	特にない	5	20.8	50
	不明	14	58.3	
		24	100	10

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	事業承継者を探す	2	8.3	18.2
2	事業売却(M&A等)を検討	0	0	0
3	事業廃業	4	16.7	36.4
4	特に考えてない	5	20.8	45.5
	不明	13	54.2	
		24	100	11

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自社製品を企画し、主要部分を社内で生産し、販売している	14	58.3	60.9
2	自社製品を企画し、主要部分は外注で生産し、販売している	1	4.2	4.3
3	他社企画の製品を完成させて納入する	3	12.5	13
4	他社企画の製品の一部を生産・加工する	4	16.7	17.4
5	その他	1	4.2	4.3
	不明	1	4.2	
		24	100	23

Q4 受注先企業数 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1-2箇所	6	25	28.6
2	3-5箇所	3	12.5	14.3
3	6-10箇所	4	16.7	19
4	それ以上	8	33.3	38.1
	不明	3	12.5	
		24	100	21

Q4 外注先企業数 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ない	7	29.2	43.8
2	1-2箇所	6	25	37.5
3	3-5箇所	2	8.3	12.5
4	6-10箇所	1	4.2	6.3
5	それ以上	0	0	0
	不明	8	33.3	
		24	100	16

Q5 最も得意とするもの (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	研究開発	0	0	0
2	企画・デザイン力	1	4.2	4.8
3	正確な生産力	10	41.7	47.6
4	営業力	1	4.2	4.8
5	提案力	0	0	0
6	柔軟性と機動力	5	20.8	23.8
7	同業者との連携	2	8.3	9.5
8	異業種との連携	0	0	0
9	その他	2	8.3	9.5
	不明	3	12.5	
		24	100	21

Q6 受注先企業の特徴 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	完成品、部品、素材の大メーカー	3	12.5	13.6
2	大メーカーの子会社、関連会社、協力会社	3	12.5	13.6
3	特定の大企業に属していない製造企業	4	16.7	18.2
4	商社、問屋、販売業者	7	29.2	31.8
5	その他	5	20.8	22.7
	不明	2	8.3	
		24	100	22

Q7 受注額の割合 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	大部分	5	20.8	23.8
2	半分程度	6	25	28.6
3	一部(2-3割)	6	25	28.6
4	一部(1割以下)	4	16.7	19
	不明	3	12.5	
		24	100	21

Q7 外注額の割合 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	大部分	1	4.2	8.3
2	半分程度	3	12.5	25
3	一部(2-3割)	4	16.7	33.3
4	一部(1割以下)	4	16.7	33.3
	不明	12	50	
		24	100	12

Q8 昨年新規の設備投資 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	実施した	4	16.7	17.4
2	実施していない	19	79.2	82.6
	不明	1	4.2	
		24	100	23

\* (実施した) 昨年新規の設備投資 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	土地	0	0	0
2	工場建物	2	8.3	40
3	生産設備	4	16.7	80
4	車両運搬具	0	0	0
5	付帯設備	1	4.2	20
6	OA機器	0	0	0
7	福利厚生施設	0	0	0
8	その他	0	0	0
	不明	19	79.2	
		24	100	5

イ 売上(加工)金額 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加	2	8.3	8.3
2	不変	8	33.3	33.3
3	減少	14	58.3	58.3
	不明	0	0	
		24	100	24

\* 売上(加工)増加 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	約1割増加	1	4.2	50
2	約2割増加	0	0	0
3	約3割増加	0	0	0
4	2倍以上伸びた	1	4.2	50
	不明	22	91.7	
		24	100	2

\* 売上(加工)減少 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	約1割減少	6	25	46.2
2	約2割減少	5	20.8	38.5
3	約3割減少	0	0	0
4	半分以下に減少	2	8.3	15.4
	不明	11	45.8	
		24	100	13

ロ 売上(加工)単価 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加	3	12.5	12.5
2	不変	18	75	75
3	減少	3	12.5	12.5
	不明	0	0	
		24	100	24

ハ 売上(加工)数量 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加	2	8.3	8.3
2	不変	9	37.5	37.5
3	減少	13	54.2	54.2
	不明	0	0	
		24	100	24

ニ 原材料仕入単価 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加	3	12.5	13
2	不変	20	83.3	87
3	減少	0	0	0
	不明	1	4.2	
		24	100	23

ホ 売上高外注費比率 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加	3	12.5	14.3
2	不変	14	58.3	66.7
3	減少	4	16.7	19
	不明	3	12.5	
		24	100	21

ヘ 採算(経常利益 個人の場合青色控除) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加	3	12.5	13
2	不変	10	41.7	43.5
3	減少	10	41.7	43.5
	不明	1	4.2	
		24	100	23

ト 従業員(臨時&パート含む)数 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加	2	8.3	8.3
2	不変	21	87.5	87.5
3	減少	1	4.2	4.2
	不明	0	0	
		24	100	24

チ 業況(自社) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	良い	1	4.2	4.2
2	普通	15	62.5	62.5
3	悪い	8	33.3	33.3
	不明	0	0	
		24	100	24

リ 資金繰り (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	好転	1	4.2	4.2
2	不変	17	70.8	70.8
3	悪化	6	25	25
	不明	0	0	
		24	100	24

ヌ 来期見通し (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	好転	3	12.5	12.5
2	不変	14	58.3	58.3
3	悪化	7	29.2	29.2
	不明	0	0	
		24	100	24

Q10 経営上の問題点 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	景気や需要の低迷	16	66.7	69.6
2	生産設備の不足・老朽化	7	29.2	30.4
3	生産ニーズの変化への対応	6	25	26.1
4	人件費の増加	6	25	26.1
5	原材料費・人件費以外の経費増加	6	25	26.1
6	生産(加工)単価の低下・上昇難	5	20.8	21.7
7	従業員の確保難	4	16.7	17.4
8	原材料価格の上昇	3	12.5	13
9	取引条件の悪化	3	12.5	13
10	熟練技術者の確保難	3	12.5	13
11	新規参入業者の増加	2	8.3	8.7
12	原材料の不足	1	4.2	4.3
13	事業資金の借入難	1	4.2	4.3
14	大企業による競争の悪化	0	0	0
15	生産設備の過剰	0	0	0
16	金利負担の増加	0	0	0
17	短納期要請	0	0	0
18	その他	1	4.2	4.3
	不明	1	4.2	
		24	100	23

Q11 今後の方針 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	現状を維持しながら効率を図る	13	54.2	56.5
2	経費を徹底的に見直し削減努力をする	8	33.3	34.8
3	将来的には廃業も考えている	8	33.3	34.8
4	営業力の強化により取引先を増やす	4	16.7	17.4
5	経営を縮小し採算を合わせていく	4	16.7	17.4
6	新製品開発などの技術革新	3	12.5	13
7	新市場開拓(海外市場など)	3	12.5	13
8	生産設備増強による規模拡大	3	12.5	13
9	製造業以外の異業種に参入又は比率を高める	1	4.2	4.3
10	その他	0	0	0
	不明	1	4.2	
		24	100	23

Q12 Q11の優先項目達成に必要な項目 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	現状を把握し、将来への展望や効率化を分析するための自社経営分析	7	29.2	38.9
2	従業員の確保と人材育成強化	7	29.2	38.9
3	将来を見据えた(縮小や廃業のための)経営計画書策定	5	20.8	27.8
4	スキル(知識や技術、情報等)を向上するための勉強会やセミナーへの参加	3	12.5	16.7
5	将来を見据えた(業績UPのための)経営計画書策定	3	12.5	16.7
6	販路開拓につなげるための補助金活用計画書の策定	3	12.5	16.7
7	資金繰り計画や新たな金融支援	2	8.3	11.1
8	異業種交流など業界動向などの情報収集	1	4.2	5.6
9	自社知名度向上などITスキル習得を含めたHP開設又はリニューアル	0	0	0
10	国や県の認定による自己革新計画(経営革新等計画)の策定	0	0	0
11	その他	0	0	0
	不明	6	25	
		24	100	18